



Windows Live Movie Maker と

DVD Maker を使って Movie DVD を創ろう

- Windows VistaとWindows7にはLive Movie Makerと**DVD Maker**というソフトが標準で装備されています。このソフトは余り使われていないことが多いのですが、大変使いやすく優れものです。これを使って、オリジナルのDVDを作りましょう。
- Movie Makerは前回紹介済みですが、これで作成したMovieは**拡張子がWMV**で、このままではパソコンで再生できますが、普通のDVDプレイヤーでは再生できません。ここでMovie Makerを使って家庭用に普及しているDVDプレイヤーで再生出来るDVDを作りましょう。(Movie Makerの使用方法は省略)

■ 基本的な手順

- 1:すべてのプログラムより**Windows DVD メーカー**を探してダブルクリックで立ち上げる。
- 2:項目の追加をクリックし**Movie Maker**で編集した**WMVファイル**を選択し追加する。
- 3:オプション(右下にある)をクリックし**DVD オプション設定**のダイアログで各種の設定を行う。
通常は⇒DVDメニューの開始・DVDの縦横比で**4:3**(最近では**16:9**が多い)ビデオ形式では**NTSC**を選択指定して置く。書き込みDVD速度は**最速**を選択。
- 4:**OK**をクリック
- 5:再び、Windows DVDメーカーの画面に戻るので、**次へ**をクリック
- 6:**DVD への書き込み準備完了**の標示を確認
- 7:画面右の**メニューのスタイル**のサンプル画面より好みのものを選択する。
(画像をクリックするとメニュー画面のサンプルを見ることが出来る)
- 8:**書き込み**(右下)をクリック
- 9:**DVD の新しいディスク**をドライブに**挿入**すると書き込みが始まる。
DVDを作成しています。エンコード中で進行状況を確認する。
- 10: DVDに書き込んでいます。のコメントが出て、書き込み進度が%で表示される。
- 11: ディスクの終了処理をしています。の標示で進度が100%になるとドライブが開き出来上がったDVDを取り出す。
更に2枚目を書き込むときには新しいディスクを入れてこのDVDの別のコピーを作成するをクリックして2枚目以降を作成する。
- 12: 以上で完了です。

出来上がったDVDは好みのデザインでDVDのラベル面をプリントし手出来上がり！出来上がったDVDを家庭用のDVDプレイヤーで再生してみよう。